

高精度測位社会プロジェクト 今年度の主な取組について

平成30年12月25日
国土政策局 国土情報課

- 屋内電子地図や測位環境を活用したサービスの更なる普及展開・サービスの定着化には、過年度までの実証で行ったナビゲーションのような一般ユーザ向けサービスのみでなく、地権者側においてもメリットのある活用方法を見出すことが必要である。
- 今年度は、社会的意義の高い「災害時の活用」をテーマに、大丸有地区都市再生安全確保計画の取組と連携し、地図、測位を活用した実証実験を行い、導入効果を示すことで、屋内空間を持つ様々な地権者の方々へのサービス活用例として普及展開の呼び水とすることを目的とする。

項目	内容
目的	実際の地権者が主体となり、現場の運営者、関係者などの参加と、実用化を見据えたアプリケーションを活用した、よりリアルな実証を行うことによって、メリット・課題を明らかにし、今後のサービス普及展開の呼び水とすることを目的とする。
実施概要	・大丸有地区都市再生安全確保計画の取組と連携した、災害時における屋内外位置情報を活用した俯瞰型情報共有サービスの実証実験 -災害対策本部、医師、看護師、負傷者などの関係者の俯瞰した位置把握 -巡回警備員、屋外バス等からの位置情報付きライブ映像の配信
実施場所	東京駅周辺の一部エリア
実証実施時期	平成31年1月下旬予定
利用アプリ	・高精度測位社会PJで整備した高精度な屋内電子地図に、スマートフォンの位置情報がプロットされ、さらにカメラから映像情報が災害対策本部のPC画面に表示される仕組みを活用

今年度の高精度測位社会プロジェクト実証実験

- 本事業で整備した高精度な屋内電子地図に警備員や負傷者などの位置情報をプロット。
- LIVE映像からの現場状況と合わせ、他ビルを含めた警備・負傷者救護状況を俯瞰。

災害対策要員

- 新丸ビル 巡回警備 (地下広場・行幸地下)
- 新丸ビル 巡回警備 (B1F - 1F 共用部)
- 丸の内仲通り 巡回警備 (セグウェイ搭乗)
- 千代田区医師会 医師
- 聖路加メディロークス 看護師
- 三菱地所G 情報収集
- 三菱地所G 救護活動班1

■ 新丸ビル
地下1階
巡回警備員から
のLIVE映像

■ アプリを搭載したiPhoneからの
発信情報で災害対策要員・
負傷者の位置を俯瞰

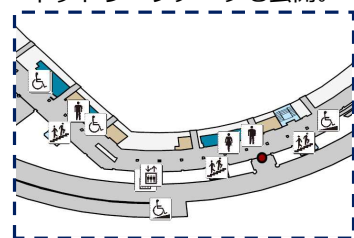
■ 丸ビル
1階
仮救護所
固定カメラ

- 過年度の実証実験の成果である横浜国際総合競技場（日産スタジアム）の屋内電子地図を、平成31年1月からG空間情報センター※1にて公開開始予定。
- 国土地理院の標準仕様※2に基づき作成された、国内最大級の競技場の屋内地図。
- 「誰でも」「自由に」「無料で」屋内地図をダウンロードすることができ、多様な民間サービスで活用が可能。

G空間情報センター

横浜国際総合競技場屋内地図オープンデータ概要

- 国土地理院の標準仕様に基づき作成された、国内最大級の競技場の屋内電子地図。
- サービスの基盤となる屋内電子地図として、スタンドを含む競技場の各階層について、通路や階段、トイレ等のデータを整備。
- 地図データとあわせ、通路の段差や勾配等を含む屋内ネットワークデータも公開。



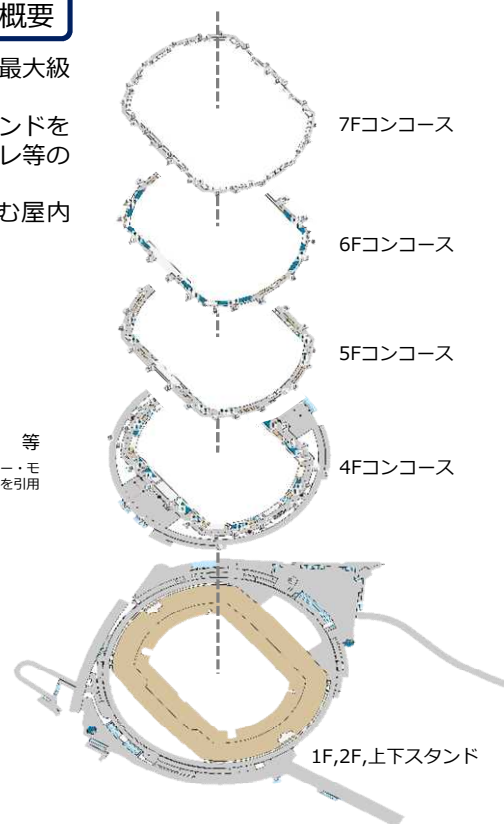
4Fコンコース拡大図



地図整備範囲

- トイレル
- 多機能トイレ
- 階段
- エレベータ
- スロープ
- 物理的な空間 (部屋の範囲など) 等

※公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団のピクトグラムを引用



公開した屋内電子地図 (GeoPDF)

※1 平成28年に稼働が開始された産学官の地理空間情報を扱うプラットフォーム。官民間問わず様々な主体により整備・提供される多様な地理空間情報を集約し、利用者がワンストップで検索・ダウンロードし利用することが可能。

「誰でも」「自由に」「無料で」
屋内地図のダウンロードが可能

多様な民間サービスにおける活用



- 今回公開する屋内地図オープンデータを活用し、民間事業者等により様々なアプリケーションの開発が可能。
- 現在地を測定し、地図上に表示するとともに、目的地までのルートを検索、段差を回避したバリアフリールートの検索も可能。



期待される屋内電子地図の活用例 (イメージ)

※2 「階層別屋内地理空間情報データ仕様書 (案)」 (平成30年3月)